



株式会社BBH(3719) 2008年12月期 決算説明資料

2009年3月31日



1. 2008年12月期本決算概要
2. 今後の見通し

1. 2008年12月期本決算概要

■ 財務体質健全化の達成

- ✓ 過去の「負の遺産」を一掃すべく、システム陳腐化による臨時償却、投資有価証券の評価損計上、ソフトウェア等固定資産の減損損失等を積極的に実施。
- ✓ (株)中野サンプラザの解散に伴う配当代金(08年12月入金)にて、無担保社債700百万円の繰上げ償還を実施(09年1月実施)。
- ✓ 09年1月末時点におけるグループ連結有利子負債残高は225百万円(⇔グループ連結現預金529百万円)。**実質的な「無借金」体質の実現。**
- ✓ 08年12月に係争中であった訴訟3件中2件の和解実現。

■ 中野サンプラザ運営事業からの撤退

- ✓ 持分法適用関連会社であった(株)中野サンプラザが04年より行ってきた中野サンプラザ運営事業について、民間の支援による再建の目処がついたことから、08年12月に、その全事業を中野区が出資する(株)まちづくり中野21に譲渡。現在、(株)中野サンプラザは(株)NSPと社名変更の上、清算手続き中。

■ コンルティング事業強化の為の施策実行

- ✓ 08年2月に投資事業組合運営会社である(株)レイズキャピタルマネジメントを子会社化。08年2月にシステム開発を行っている(株)SymphonyMaxを子会社化。
- ✓ 西日本の顧客サービス拡充の為、子会社(株)ジェクシードコンサルティングは、08年6月に大阪に事務所開設。

- 2007年7月、純粋持ち株会社制度を導入し、株式会社BBHをホールディングカンパニーとした新たな体制でスタート
- 2008年2月に投資事業組合運営会社である株式会社レイズキャピタルマネジメントを、2008年5月にシステム開発会社の株式会社SymphonyMaxを子会社化し、4社体制で顧客のあらゆるニーズに応えるワンストップコンサルティングサービスを目指す

【純粋持株会社】

株式会社BBH

【100%子会社】

株式会社ジェクシードコンサルティング

【100%子会社】

株式会社ビジネスバンクパートナーズ

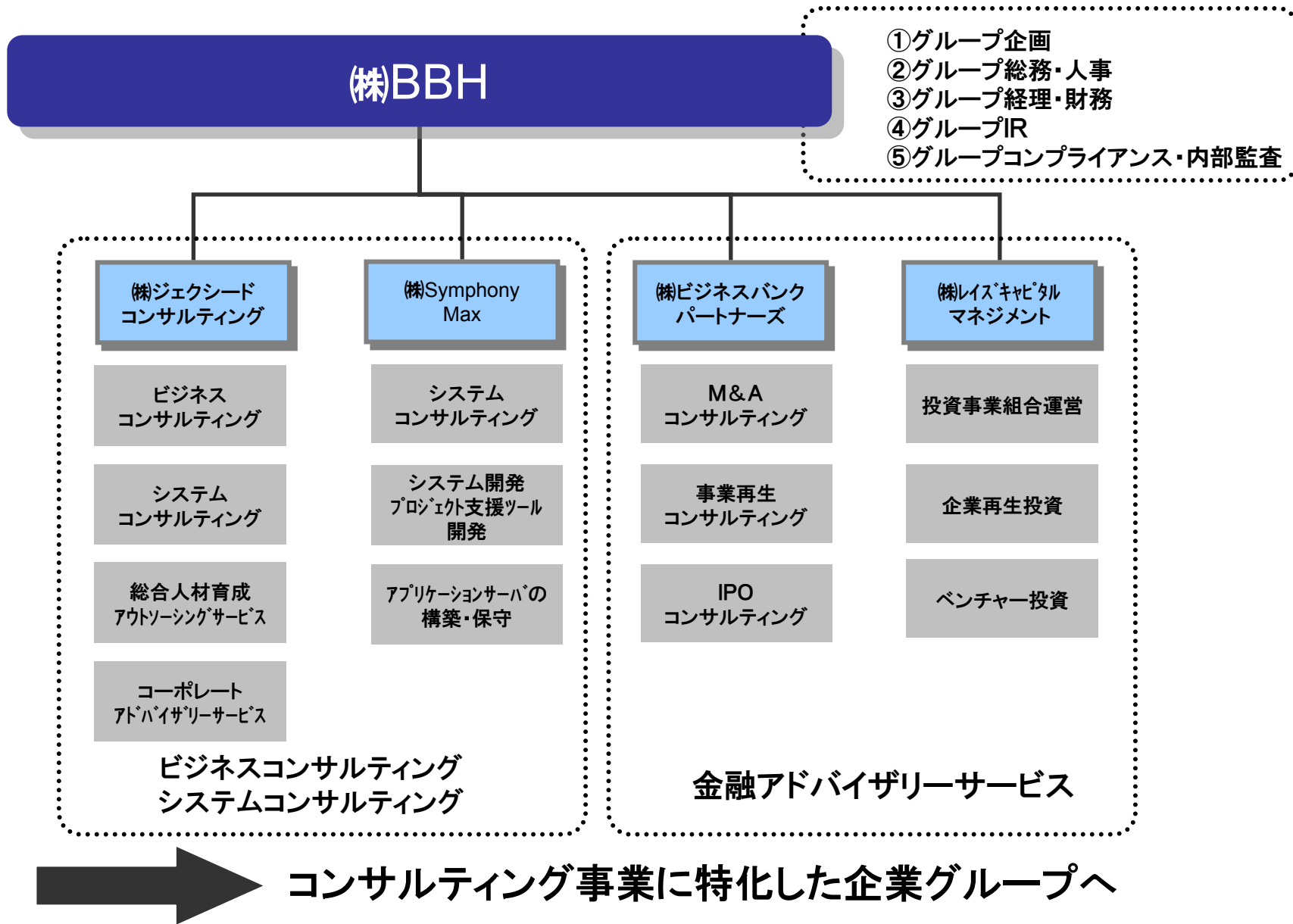
【100%子会社】

株式会社レイズキャピタルマネジメント

投資事業組合×7

【100%子会社】

株式会社SymphonyMax



- グループ企業の再編により、施設運営事業等を売却したため、大幅減収となったものの、コンサルティング事業(4社体制)への事業集中は完了
- 特別損失を601百万円計上し、過去の負の遺産を一掃

(単位:百万円)

	2007年12月期 連結	2008年12月期 連結	前期比
売上高	4,412	1,671	▲ 2,741
売上原価	3,521	1,423	▲ 2,098
売上総利益	891	247	▲ 644
販売費及び 一般管理費	1,103	672	▲ 431
営業利益	▲ 212	▲ 425	▲ 213
経常利益	▲ 194	▲ 397	▲ 203
特別利益	313	14	▲ 299
特別損失	▲ 620	▲ 601	19
少数持株損失	▲ 23	154	177
当期純利益	▲ 606	▲ 869	▲ 263

• 施設運営事業(前期2,573百万円)、債権・不動産投資事業(同43百万円)売却のため売上減

• 投資有価証券評価損を含む
(ただし、評価損のうち、他社出資分は少数持株損失として戻る)

• 特別損失のうちわけ

ソフトウェア臨時償却費	63百万円
投資有価証券評価損	136百万円
ソフトウェアの減損損失	193百万円
過去の前払費用償却	105百万円
訴訟の和解金	99百万円

2008年12月期 連結B/Sの概要(資産の部)

(単位:百万円)

科目	2007年12月期 連結	2008年12月期 連結	前期比
流動資産	1,864	1,819	▲ 2.4%
現金及び預金	1,390	1,497	▲ 7.7%
売掛金	265	202	▲ 23.8%
営業投資有価証券	30	—	—
たな卸資産	2	25	1150.0%
前払費用	129	24	▲ 81.4%
繰延税金資産	24	—	—
その他	52	72	38.5%
貸倒引当金	▲ 31	▲ 1	—
固定資産	962	313	▲ 67.5%
有形固定資産	11	15	36.4%
無形固定資産	100	9	▲ 91.0%
投資その他の資産	850	289	▲ 66.0%
投資有価証券	764	210	▲ 72.5%
その他	86	79	▲ 8.1%
資産合計	2,826	2,133	▲ 24.5%

・ 前払費用償却 ▲105百万円

・ ソフトウェア ▲92百万円

・ 投資有価証券の評価減と株式会社中野サンプラザ営業譲渡などによる減少

■ 長期借入金返済により負債は減少

(単位:百万円)

科目	2007年12月期 連結	2008年12月期 連結	前期比
流動負債	496	1,229	147.8%
一年内返済長期借入金	200	175	▲ 12.5%
一年内償還予定社債	—	700	—
未払金	42	171	307.1%
その他	253	183	▲ 27.7%
固定負債	965	97	▲ 89.9%
社債	700	—	—
長期借入金	250	75	▲ 70.0%
その他	15	22	46.7%
負債合計	1,462	1,326	▲ 9.3%
株主資本	1,330	581	▲ 56.3%
評価・換算差額等	1	▲ 27	—
新株予約権	33	95	187.9%
少数株主持分	0	158	—
純資産合計	1,364	807	▲ 40.8%
負債純資産合計	2,826	2,133	▲ 24.5%

• 2009年1月30日早期償還

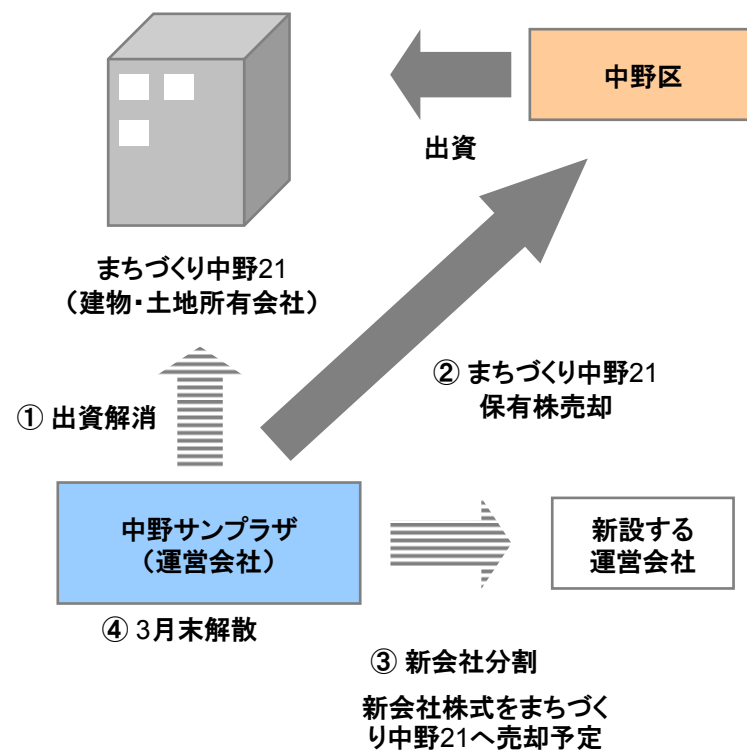
• 長期借入金の返済

- 株式会社中野サンプラザからの配当金を受け取り、現金及び現金同等物期末残高が625百万円のプラス

(単位:百万円)

	2007年12月期 連結	2008年12月期 連結
営業活動による キャッシュ・フロー	▲ 109	▲ 172
投資活動による キャッシュ・フロー	890	544
財務活動による キャッシュ・フロー	▲ 1,872	▲ 221
現金及び現金同等物 期末残高	1,347	1,497

中野サンプラザ運営解消時スキーム



■ コンサルティング事業に経営資源集約するため、ノンコア事業は売却

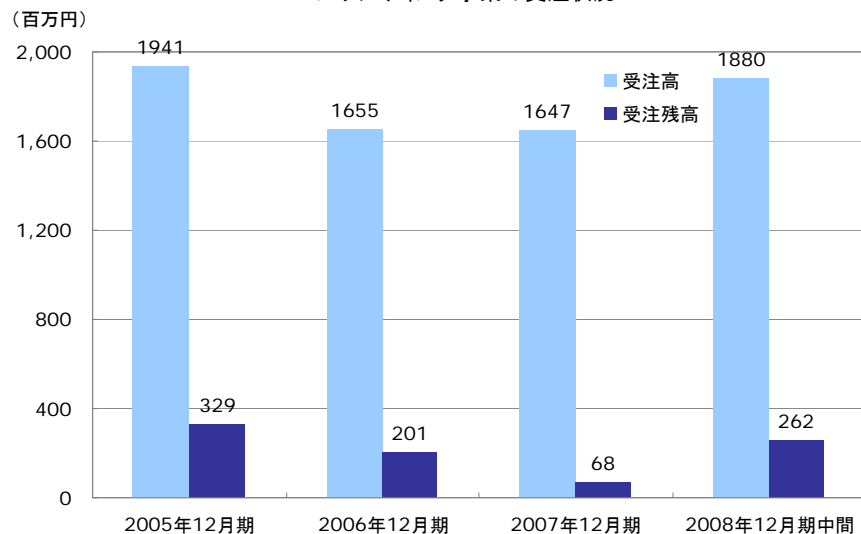
(単位:百万円)

	2007年12月期 連結			2008年12月期 連結		
	売上高	営業費用	営業利益	売上高	営業費用	営業利益
コンサルティング事業	1,782	2,042	▲ 260	1,685	1,838	▲ 152
施設運営事業	2,575	2,499	75 -	-	-	-
債権・不動産投資事業	43	51	▲ 7 -	-	-	-
機器販売その他事業	14	9	4	220	489	▲ 268

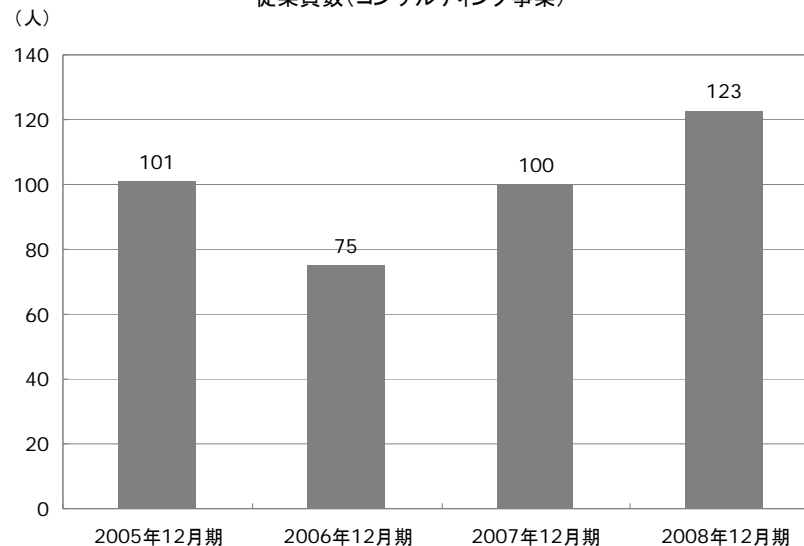
- 株式会社レイズキャピタルマネジメント及び同社が業務執行する投資事業組合は、機器販売その他事業に含む
- 株式会社SymphonyMaxはコンサルティング事業に含む

- システムコンサルティングでは、プロジェクトの進捗度に応じて一定期間ごとに検収を行い売り上げに計上する「検収基準」を採用
- SymphonyMaxの子会社化や積極的な採用により、外注依存からの脱却を図る

コンサルティング事業の受注状況



従業員数(コンサルティング事業)



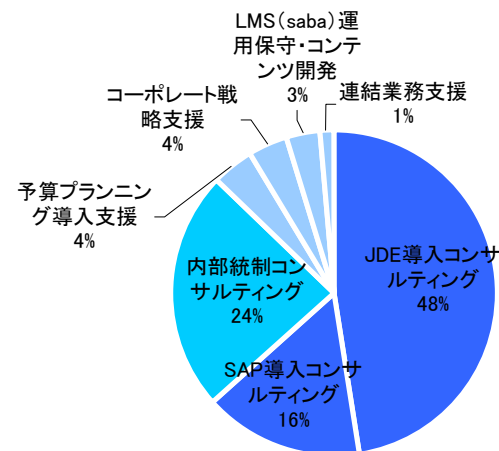
ビジネス・システムコンサルティングの状況

- ERP(SAP *1、JDE *2)導入コンサルティングが投資抑制の影響を受け、新規案件は厳しい結果となった(既存案件は好調)
- 上場企業のJ-SOX対応により、内部統制コンサルティングは好調

売上上位10位のプロジェクト及び顧客企業の内容

業種	プロジェクト内容	売上高	従業員数	
1	ソリューションプロバイダー	SAP導入コンサルティング	251億円	668名
2	不動産紹介業	JDE導入コンサルティング	74億円	434名
3	情報・通信業	内部統制コンサルティング	—	11,146名
4	建材メーカー	JDE導入コンサルティング	1,365億円	1,553名
5	産業用ロボットメーカー	JDE導入コンサルティング	426億円	617名
6	鉄道会社	内部統制コンサルティング	—	4,738名
7	総合商社	内部統制コンサルティング	—	18,440名
8	物流関連機器販売業	JDE導入コンサルティング	413億円	584名
9	メディアメーカー	予算プランニング導入支援	—	844名
10	カタログ販売業	コーポレート戦略支援	666億円	2,400名

上位20位までのプロジェクト売上高比率



*1 SAP社のサービスパートナーとして mySAP ERP®、特に財務/会計/人事領域を中心とした導入コンサルティングサービスを提供

*2 日本オラクル株式会社の認定パートナーとしてERP製品であるJD Edwards EnterpriseOneの導入、運用、コンサルティングサービスを提供

- M&A、事業再生コンサルティングについては、今期以降へつながるような案件を着実に積み上げ
- (株)レイズキャピタルマネジメントが運営管理する投資事業組合は投資先の純資産額が著しく減少したことにより、134百万円の評価損を計上

M&Aコンサルティング

- 上場会社によるTOB案件のアレンジメントを実行
- 上場会社同士の資本・業務提携のアレンジメントを推進中(09年2月提携開始)
- 上場会社の買収案件のデューデリジェンスを実行

事業再生コンサルティング

- 07年よりFA(フィナンシャルアドバイザー)として再生コンサルティングに入っていた会社の案件が完了

投資事業組合運営

- 08年2月に子会社化した(株)レイズキャピタルマネジメントにて計7ファンドを運営管理

2. 今後の見通し

- ビジネスコンサルティング事業では開設した大阪事務所を拡充し、西日本の顧客への深耕を図っていく
- 外注依存していたITに関連する分野を、株式会社SymphonyMaxへ委託し、外注費抑制を図る
- グループ全体の効率化、管理コストの削減に注力

(単位:百万円)

	2008年12月期 連結	2009年12月期 連結(中間)	2009年12月期 連結(通期)
売上高	1,671	878	1,757
営業利益	▲ 425	▲ 71	▲ 74
経常利益	▲ 397	▲ 107	▲ 136
当期純利益	▲ 869	▲ 109	▲ 140
1株当たり当期純利益	▲ 101.41	▲ 12.12	▲ 15.48

■ 今期から来期にかけて、環境は大幅に変わらないと想定

- ✓ 2008年下期に開始が先延ばしされたプロジェクトの一部は、来期上期より開始予定
- ✓ 不況下の企業としても必然性の高いサービス(J-SOX評価・運用支援、決算早期化など)に引続き注力
- ✓ ユーザーとの直契約数の増加を目指す
- ✓ 関西圏への進攻(今期1件受注、来期3件の獲得を目指す)

ERP導入コンサルティング

- ・Oracle Accelerate^{*1}の露出やJDE認定コンサルタント数No.1などを追い風に、オラクルとの協業を更に推進する予定
- ・SAP導入コンサルティングは継続案件に加え、新たなアライアンス先が複数加わり、来期はより安定的な稼動が見込まれる

内部統制(J-SOX)コンサルティング

- ・既存案件の継続により底堅いビジネスを展開
- ・後発組(3月決算以外)や本番年度以降の継続評価に係わる新規受注の獲得により更なる積み上げを目指す
- ・本番年度の評価・運用支援の安定案件が見込まれる

決算(連結)早期化など 経営管理ソリューション

- ・大手ベンダー、コンサルティング会社/中堅監査法人等とのアライアンスを強化し、足場固めを行う
- ・四半期報告制度対応に係わる決算(連結)早期化のニーズを確実に捉え、この分野の拡大を目指す

人事業務コンサルティング

- ・人事制度改革案件/人材開発(教育)案件に、より上流からの関与を目指す
- ・新製品をラインナップに加え、この分野の拡大を目指す

^{*1}Oracle Accelerate(オラクル・アクセラレート)は、オラクルのアプリケーションに、パートナー各社がもつ製品導入の豊富な経験を加えた業種特化型のソリューションで、当社はオラクル社の推進するプログラム「Oracle Accelerate」の推進パートナーとなっている

- 不況の影響を受け、再生案件が急増中。以下の3つのビジネスに経営資源を集中。

M&Aコンサルティング

- 不況の中、会社売りニーズは急増中
- キャッシュリッチな買い手を中心に、依然として買いニーズは強いものの、上半期は「様子見」の状況
- きめ細かなフォローと、情報ネットワークの拡充により、成約案件数の積み上げを目指す

事業再生コンサルティング

- 3月決算を迎えて上場、非上場会社の再生案件は急増中
- 上場会社の再生コンサルティングと、法手続きに入った会社のFA(フィナンシャルアドバイザー)就任に注力

企業再生投資

- 事業再生コンサルティングビジネスの果実の極大化を目指して、案件によっては自己投資またはファンド組成による投資も検討

株式会社BBH 管理本部 IR担当

TEL :03-3544-6631

FAX :03-3544-1117

e-mail :ir@bbank.co.jp

本資料につきましては、株主・投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

また、業界等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

本資料は、株主・投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、株主・投資家の皆様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。